

職員による自己評価

A環境面

- ・職員配置は基準を満たしている。
- ・職員の欠勤が出た際は、パートで対応を行っている。
- ・教室内の段差箇所は少なく、利用児童が安全に過ごせるよう工夫をしている。

B児童への支援内容

- ・活動プログラムに偏りが出ないように、職員間で会議を重ねて支援お行っている。
- ・利用児童に合わせて教室の使い分けを行っている。
- ・個別支援計画をもとに活動内容を検討、設定し、細かな点も話し合いを重ねて支援を行っている。

C関係機関との連携

- ・保護者からの要望が合った際は、学校訪問を行い連携に努めている。
- ・自立支援協議会や地域の放デイ会に定期的に参加し、情報共有を行っている。

D保護者への説明責任・信頼関係

- ・支援内容や運営規定について、契約時や面談時に詳しく説明をしている。
- ・連絡ツールを活用し、保護者様への毎日の活動の様子を文書と写真で報告している。

E非常対応

- ・定期的に避難訓練を実施し、避難場所や経路の確認、把握をしている。
- ・送迎車に車内置き去り防止装置の設置を行い、置き去り防止訓練の実施も行っている。

保護者による評価

A環境面

- ・施設のスペースが広いと思う。
- ・子どもに目が届く職員の人数で対応できている。
- ・教室内を見学する機会が少なく、わからないという意見があった。

B児童への支援内容

- ・毎日異なる内容のプログラムで飽きずに過ごせている。
- ・支援内容も工夫をしており、子どもが楽しみながら取り組める課題にしている。
- ・障害のない子どもとの交流の機会がわからないという意見があった。

C事業所からの情報発信

- ・その日の些細なことも気に留めて報告し、タイムリーな情報共有ができています。
- ・毎日写真付きでラインで様子を知らせてくれている。
- ・保護者会の開催については「どちらともいえない」「必要性を感じていない」の意見が多かったが、交流を希望している意見もあった。

D非常対応

- ・緊急時のマニュアルなどの周知、説明に把握できているとの意見が多かった。

事業所内での分析

【共通点】

- ・連絡ツールを活用し、児童の活動の様子について毎日共有することができている。
- ・様々な活動プログラムが組まれているため、児童が飽きることなく楽しく通えている。
- ・児童それぞれに合わせた個別支援計画の作成が行われている。

【相違点】

- ・連絡ツールにて各児童の活動の様子を写真と文書で共有しているが、教室の環境や構成、利用時の教室の雰囲気までは伝えられていない。

分析・検討してみて…

事業所の強み

- ・連絡ツールを使用し、毎日の児童の活動の様子を保護者に細かく報告することで、適宜保護者との情報共有を行うことができています。
- ・様々な活動プログラムを組んでいるため、児童が楽しく通うことができおり、満足度が高い。

事業所の改善点

- ・保護者の方に教室の雰囲気や活動の様子をより知っていただけるようにする。

事業所の改善への取り組み

- ・現在は特にご希望はありませんが、今後保護者から、お子様の活動の様子を見たいというご依頼があった場合には、夏休みのイベントや工作展示会などを実施して教室にご見学にきていただけるよう、前向きに検討をさせていただきます。

～自己評価を行っての事業所としての感想など～

この度、アンケートにご協力いただきありがとうございました。Peek A Boo 樽町教室は3年目となり、学年差が発生し、子ども同士お互いに助け合いながら過ごすことができました。たくさんのお子どもたちが楽しく教室に通ってくださっていることがわかり、大変嬉しく思っております。今回いただいたアンケート結果を真摯に受け止め、お子様や保護者様が今後も安心して通うことができる教室運営を心掛けてまいります。

事業所名 Peek A Boo 樽町教室

担当者 管理者 高橋優

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表: 令和6年3月25日

アンケート期間: 令和5年12月4日～令和6年1月12日

事業所名 放課後等デイサービスPeekABoo 保護者等数(児童数) 30 回収数 30 割合 100%

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	28	2	0	0	・施設のスペースが広い ・外出活動が多い	最低限の活動ができるスペースは確保をし、活動やお子様に合わせて部屋を分けて活動を行っています。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	27	3	0	0	・子ども全員に目が届く職員の人数で、しっかりと対応してもらっている	
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	18	10	0	2	・気にしていない ・覚えていない	
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画※ i が作成されているか	30	0	0	0	・色々と工夫をして、子どもが楽しみながら課題に取り組みるようにしている ・面談や困りごとに対しても適切に相談に乗っていただくなど、きめ細やかな対応である	
	5 活動プログラム※ ii が固定化しないよう工夫されているか	30	0	0	0	・毎日異なる内容で飽きずに楽しく過ごしている ・療育的な内容も含まれている	
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	7	13	8	2	・どのように交流しているのか、いつ交流しているのかわからない	交流の機会につきましては、外出活動を通して保護者様、お子様のご意見を十分に考慮した上で行っています。交流を行った際は記録を通して保護者様にも共有を行ってまいります。
保護者 への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	30	0	0	0		
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	30	0	0	0	・学校や家庭での苦手な部分も相談でき、支援に組み込んでいる ・その日のささいな事も気に留めて報告してくれている ・タイムリーな情報共有がしっかりとできている ・毎日写真付きのラインで様子を知らせてくれている ・状態、感情、様子を親身に見ており、同じプログラムでも個別に対応してくれている ・学校での心配ごとなども親身に話を聞いてもらえて助言をいただいている	
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	30	0	0	0	・兄妹の様子も含めて相談ができる ・親とは違う目線でアドバイスをくれる	
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	5	11	14	0	・学校もそれぞれで先生方のフォローもとても丁寧であるため、保護者同士の連携は必要と感じていない ・他のお友達の親御さんたちと交流できたらうれしい	保護者様のご意見をもとに検討してまいります。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	25	4	0	1	・苦情を伝える必要性を感じたことが無い ・経験がない	お子様、保護者様から苦情があった際は、真摯かつ迅速に対応してまいります。
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	30	0	0	0	・ラインがとても便利でありがたい	
13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	28	2	0	0	・毎日写真付きで細かくその日の活動や子どもの様子を連携しているため理解ができる		

	14	個人情報に十分注意しているか	27	3	0	0	
非常時等の対応	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	27	2	1	0	車内置き去り防止訓練の実施を行いました。今後も定期的に実施を行っていき、すべての利用児童が訓練に参加できるように日程を調整してまいります。
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	30	0	0	0	年に2回の避難訓練習慣を設けています。引き続き、すべての利用児童が避難訓練に参加できるように日程を調整してまいります。
満足度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	29	1	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日楽しみにしており、一つの居場所として安心して過ごしている ・ピーカーブーに通い始めてから今まで一度も行きたくないなどのネガティブな発言がなく楽しみにしている ・どんなプログラムがあるのか楽しみに手紙を見ている ・どんな活動をしたのか、いつもたくさん教えてくれるので楽しい様子が伝わってくる
	18	事業所の支援に満足しているか	30	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・課題に対する支援を一緒に考えて頂きとても成長を感じる ・いろんな人について進めたくなる場所である ・個々でしっかり見てもらい苦手な部分も含めサポートしてもらっており、成長も見られているのでとても助かっており満足している ・車内のDVDの視聴が暗い中で観ているため視力に影響しないか懸念している

※ i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

※ ii 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表：令和6年3月25日

事業所名 放課後等デイサービスPeek A Boo樽町教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		・法令を遵守しています。 ・活動内容によって人数や部屋を分けるなどの工夫を行い、利用児童が安全に楽しく過ごせるように配慮しています。	今後も法令を遵守します。
	2	職員の配置数は適切である	○		法令を遵守しています。	今後も法令を遵守します。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○		・教室には段差のある箇所が少ないです。 ・机の角にコーナガードを設置し、安全対策をとっています。	今後も利用児童に合わせた環境設定、設備の整備を行っていきます。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		・職員間で毎日ミーティングを実施し、前日の振り返りや意見交換を行っています。	引き続き継続して毎日のミーティングの実施や情報共有を行っていきます。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		年に1回の評価アンケートを実施しています。別途いただいたご意見には、都度対応しています。	保護者様からの意見を把握し、業務改善へつなげていきます。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		毎年、教室のHPへの公開を行っています。	今後も教室のHPにて公開をしていきます。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○	第三者による外部評価は実施していません。	今後必要に応じて実施を検討していきます。
適切な支援の提供	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		各職員が発達障害に関する研修を積極的に受講しています。	今後も職員に質の向上を図り、研修で習得した知識を現場につなげていきます。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		保護者と児童のニーズや児童の現状から、適切に支援計画の作成を行っています。	引き続き適切な支援計画作成を心掛けていきます。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		アセスメントシートは教室内で統一したものを使用しています。	今後も同様のアセスメントシートを使用していきます。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		毎月カリキュラム会議を実施し、職員間で意見を出し合いながら次月の活動内容を決定しています。	今後も継続していきます。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		曜日や週ごとで内容が被らないよう検討しています。	今後も継続していきます。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		個別支援計画をもとに活動内容を検討、設定し、細かな点も話し合いを重ねて支援を行っています。	今後も継続していきます。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○		学習時間などの個別活動の時間、ゲームや工作などの集団活動の時間をどちらも取り入れて毎日療育を実施しています。	今後もお子様の状況を踏まえて継続していきます。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		サービス提供開始前に活動の流れや注意事項を職員間で確認し、共有を行っています。	今後も継続していきます。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		支援の振り返りは日誌を記入し、その日または翌日のサービス提供開始前に職員間で確認・共有を行っています。	今後も継続していきます。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		・毎回の活動記録を記入し、保護者に共有しています。 ・記録をもとに今後の支援方法についても検討しています。	今後も引き続き、記録を徹底し支援に繋げていきます。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		個別支援計画更新時に保護者に対してモニタリングを行っています。	今後も必要に応じて面談を実施していき、適切な個別支援計画作成を心掛けていきます。
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	○		ガイドラインに則って支援を行っています。	今後も継続して実施をしていきます。	

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○	現在該当児童は在籍していません。	今後参加する場合には子どもの状況に精通した者が参加をしていきます。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	○	<ul style="list-style-type: none"> 各学校の情報共有は主に保護者様を通して行っています。 必要に応じて、学校訪問を行い連携を図っています。 下校時刻の変更については迅速に対応できるよう心掛けています。 	引き続き保護者様と連絡をとりながら、職員全員が情報を把握できるようにしていきます。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	○	現在該当児童は在籍していません。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○	情報共有シートをいただきながら、関係機関と連携をとっています。	今後も必要に応じて連携をしていきます。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○	現在該当児童は在籍していません。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○	利用していた事業所から情報共有シートをいただき、情報の把握を行っています。	今後も必要に応じて連携をしていきます。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○	外出活動などで交流する機会を設けています。	今後も必要に応じて交流を行っていきます。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している	○	児童発達支援管理責任者が参加をしています。	地域との連携強化のため、今後も引き続き参加をしていきます。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○	面談の機会や連絡ツールを活用して子どもの状況を常時共有しています。	よりよい支援を行うことができるよう、引き続き保護者様との情報共有を行っていきます。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○	現在そのような機会は設けていません。		
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○	契約時に説明をしています。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○	<ul style="list-style-type: none"> 都度保護者様からの相談に適切に対応しています。 相談内容は職員間で共有し、支援につなげています。 	全職員が保護者様からの相談等に適切に対応できるよう、職員間での情報共有や職員の質の向上を図っていきます。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○	現在はそのような機会は設けていません。	今後、ご要望がある場合は必要に応じて実施を検討していきます。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○	<ul style="list-style-type: none"> 苦情対応について契約時に説明をしています。 要望にはできる限り対応できるよう努めております。 	苦情をいただいた際には、適切かつ迅速に対応ができるよう努めてまいります。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○	<ul style="list-style-type: none"> インスタグラムやブログにて教室の様子を投稿しています。 毎月おたよりを発行し、活動の予定等をお知らせしています。 	今後も継続していきます。
	35	個人情報に十分注意している	○	<ul style="list-style-type: none"> 個人情報書類につきましては鍵付き書庫にて保管をしています。 契約時に個人情報使用同意書についてご説明し、保護者様に同意をいただいております。 	SNSへの投稿時には個人が特定される写真の投稿は控えるなど、今後も個人情報の取扱いに留意し、徹底していきます。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○	お子様の特性や発達段階に合わせた配慮、サポートを行っています。	今後も継続していきます。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○	現在、実施をしていません。	今後、ご要望がある場合は、必要に応じて実施を検討していきます。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○		各マニュアルの策定を行い、職員間で内容の把握をしています。	保護者様へのマニュアルの周知が不十分な部分もあるため、今後検討をしていきます。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		定期的に火災・地震を想定した避難訓練を実施しています。また、車内置き去り防止訓練も合わせて実施を行っています。	今後も継続していきます。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		定期的に職員研修を実施しています。	今後も継続していきます。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○		やむを得ず身体拘束を行うことがないため、記載していません。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		・契約時にアレルギー調査票の記入をお願いしています。アレルギーに十分留意しておやつを提供をしています。	今後も継続していきます。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		毎日ヒヤリハットを記入し、職員間で共有しています。	今後も継続していき、安全強化に努めていきます。